

朝礼校長講話（１０月３０日）

こうして、ここから見てみると、何人かの子が「こん、こん」と咳をしています。そして、何人かの子がマスクをしています。２週続けて来た台風の影響もあって、一気に秋が深まりました。秋が深まるというよりは、来週はもう「立冬」ということで冬がすぐそこまでやって来ているような気がします。天気予報では、今週は最低気温がひと桁になるようです。マスクやうがい、手洗い、そして部屋の空気の入れ替えなど、風邪を引かないような予防を心がけてください。

話は変わりますが、先週、国の選挙、衆議院選挙がありました。先生も投票へ行きましたが、そこで、初めての光景を目にしました。それは、何かというと、学生服姿で投票をしている男の子を見たのです。これまで何度も投票をしていますが、投票所でそんな光景を見たことはありませんでした。なぜだか分かりますね。そう、選挙権、投票をできる権利が１８歳に引き下げられたからです。その子は部活動の帰りなのか、学生服姿で投票箱に一票を投じていました。３年生にとっては３年後のことです。

その一票。それは、適当に投票しているわけではありません。「この人の考え方に賛成だ」「この人が当選したら、こんな政治をしてくれるだろう」という期待を込めて投票するものです。言い換えれば、投票した人にはその人を当選させた責任があるのです。このことは、先ほど認証した学級委員や先週に認証した委員会委員長や生徒会役員にも当てはまることだと思います。立候補し当選した子には、当然、公約を実行する責任がありますが、その子たちを選んだここにいる圧倒的多くの皆さんには、選んだ責任があります。投票したら終わりではないのです。ですから、学級委員さんや委員長さんたちが困っていたり、何かしようとしていたりしている時には、ぜひそれを助け、協力してほしいと思います。それがあってはじめて、いいクラス、いい委員会、いい生徒会となっていくと思います。よろしくお願いします。